

講演

# 精神医療のこれから

竹端寛 氏  
来たる！！

～精神医療の枠組みはずし～

精神医療と言えは

- 「薬はきっちり飲まなければいけない」
- 「できるだけ副作用の少ない薬を」
- 「統合失調症が治る新薬が開発されないか」
- 「薬を拒否する子どもに途方に暮れる」
- 「信頼できる医者に巡り合いたい」
- 「医者の言うことは聞かなければならない」
- 「状態が悪くなったら、入院しかない」



薬・医者・病院この3つは外せないものだと私たち家族は思ってきました。  
精神医療をこの「枠ワク」の中で、考えてきました。

そこに飛び込んできた新しい情報

全世界的な注目を集め、日本でも精神医療に大きなインパクトを与え、専門家・当事者・家族の注目を集めている「オープンダイアログ（開かれた対話）」（フィンランド）そして、精神病院をなくしたイタリア・・・

急性期に毎日  
ミーティングを行って  
回復を目指す



薬や入院は絶対に必要  
ではないかも。

今回の講演の講師は、山梨学院大学法学部政治行政科教授の竹端寛氏をお招きします。竹端さんは、日本の精神医療だけでなく、イタリア・トリエステやフィンランドのケロプダス病院など、精神医療の枠組みを掛け替えた現場を取材してこられました。また、「未来語りのダイアログ」のファシリテーターの研修も受け、対話を通じた精神医療の枠組み外しにチャレンジしておられます。

竹端さんとの対話の中で、家族が求める精神医療のこれから、とはどんなものか、私たちに何ができそうか、を一緒に考えてみませんか？